



あいち防災アクションプラン



鯉のぼりの後はいきなりの夏日ですね。健康第一！わんにゃんも

■令和 7 年 5 月臨時愛知県議会

議会人事を中心とした 5 月臨時県議会が 22 日に開催されます。あいち民主県議団として議長に瑞穂区選出の高木氏、副議長に一宮選出の高橋氏を候補者として選挙に臨みますが、過半数を占める最大会派の自民党の川嶋太郎氏(名古屋市瑞穂区、5 期、49 歳)が議長に、副議長に南部文宏氏(名古屋市守山区、3 期、66 歳)が当選される見込みです。また、常任委員会(総務企画、県民環境、福祉医療、経済労働、農林水産、建設、教育・スポーツ、警察の 8 常任委員会の一つに議員は必ず所属等)について選任等が行われ、鈴木は引き続き**農林水産委員会委員(理事)**に選任予定です。委員会では IT 化やスタートアップも視野に、食育推進や農業などの各課を所掌する

農業水産局、並びに土地改良などの農地部等を所掌する**農林基盤局**を所管いたします。また、来年に開催を控えた**アジア・アジアパラ競技大会推進特別委員会(理事)**に所属します。

知事提出議案は高病原性鳥インフルエンザの影響を受けた農家への経営支援(債務負担行為)や監査委員等です。2 か月近く遅くなりましたが令和 7 年度の愛知県議会が動き出します。

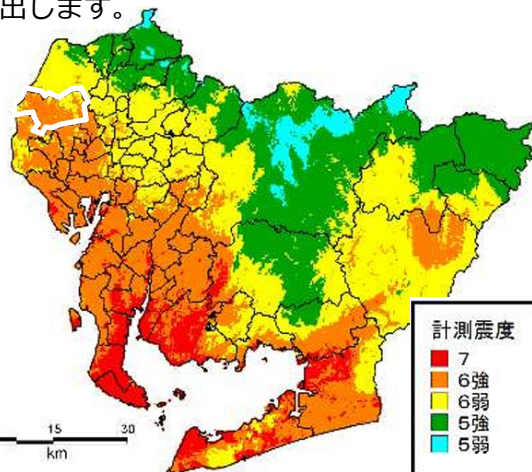
■愛知県地域強靱化計画

国が 2023 年 7 月に「国土強靱化基本計画」を変更したことを踏まえ、近年の災害の教訓や国の最新の動向を反映し、新たな計画をこの 3 月に策定しました。愛知県地域強靱化計画は、**①県民の生命を最大限守る**、**②地域及び社会の重要な機能を維持する**、**③県民の財産及び公共施設、愛知県を始め中部圏全体の産業・経済活動に係る被害をできる限り軽減する**、**④迅速な復旧復興を可能とする**、の 4 つの基本目標に基づき 6 つの対策目標、脆弱性評価に基づく強靱化の推進方針・リスクシナリオの設定などにより強靱化を推進します。

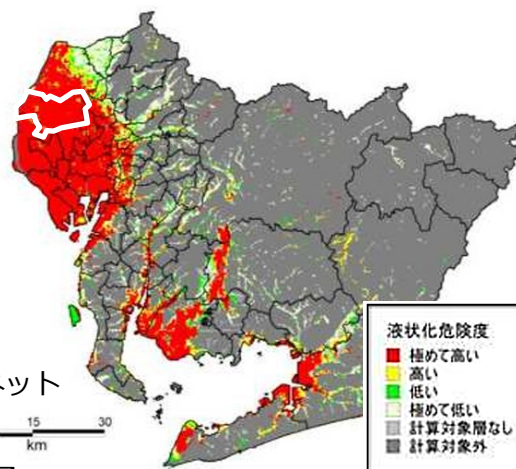
また、計画にはこれまでの地震対策アクションプランを風水害等の対策を含めた総合的な防災対策へリニューアルし、具体的なアクション項目を整理した「あいち防災アクションプラン」の章を設け、実施期間 5 年間で取組を推進します。

6 つの対策目標

- ①あらゆる自然災害に対し、750 万人県民の**直接死を最大限防ぐ**
- ②救助・救急、医療活動が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保することにより、**関連死を最大限防ぐ**
- ③必要不可欠な**行政機能を確保する**
- ④「産業首都あいち」の**経済活動**を機能不全に陥らせない
- ⑤情報通信サービス、電力等ライフライン、燃料供給関連施設、交通ネットワーク等の被害を最小限にとどめるとともに、**早期に復旧させる**
- ⑥社会・経済が迅速かつ従前より**強靱な姿で復興**できる条件を整備する



【震度分布】理論上最大想定モデル(陸側ケース)



【液状化危険度分布】理論上最大想定モデル(陸側ケース)

STEP 21 県政

2025R07



REPORT

あいち民主県議団

すずき純

鈴木じゅん事務所 〒492-8229 稲沢市稲島 10-82
Tel 24-6600 Fax 23-0791 suzukijun@step21.net

2505



■あいち防災アクションプラン

減災目標：本県に影響を及ぼす大規模自然災害と想定される南海トラフ地震の被害(過去地震最大モデル)に対して設定

死者数	約 6,400 人⇒約 1,200 人	約 8 割減
建物の全壊・焼失棟数	約 94,000 棟⇒約 47,000 棟	約 5 割減

①直接死を防ぐ 地震動対策、火災対策、津波対策など、直接死を防ぐための取組を実施。 (●は主な進捗管理指標等)

- 住宅の耐震化率 91.2%(2020)⇒2025 年度までに 95%
- 家具の固定率 58.1%(2023 以下同年度)⇒65%(2029 以下同年度)
- 南海トラフ地震臨時情報の認知度 23.1%⇒100%

②迅速な人命救助を実施するとともに関連死を防止する 救助・救急活動の体制整備、医療・福祉機能維持、避難生活環境の確保など、救助・救急、医療活動及び避難生活環境の確保等により関連死を最大限防ぐための取組を実施。

- 消防団の定員の充足率 83.2%⇒100%
- 災害拠点病院等の BCP 策定率 58.7%⇒80%
- 家庭内備蓄 3 日分以上の県民の割合 食料 42.4%飲料水 50.6%⇒隔年実施の調査で前回調査を常に上回る

③必要不可欠な行政機能を確保する 警察機能の維持、県・市町村の行政機能の維持など、災害時に必要不可欠な行政機能を確保するための取組を実施。

- 災害時の受援体制に関する計画の整備 29 市町村⇒全市町村

④経済活動を機能不全に陥らせない 企業活動の継続、農業・漁業の維持など、「産業首都あいち」の経済活動を 機能不全に陥らせないための取組を実施。

- 中小企業の BCP 策定率 13.9%⇒16%

⑤社会インフラの被害軽減と早期復旧を図る 情報の収集・伝達、電力や燃料の供給停止対策、上下水道施設の機能維持等、社会インフラの被害軽減と早期復旧への取組を実施。

⑥迅速かつ強靱な姿での復興を目指す 復興方針、復興体制の整備、災害対応・復旧復興を支える人材等の確保、災害廃棄物対策、生活再建等、本県が被災した場合に迅速かつ強靱な姿での復興を目指すための取組を実施。

⑦人材育成・連携・新技術の活用によって地域防災力を高める リスクコミュニケーション、人材育成、産学官民・広域連携、デジタル活用など、地域防災力を高める取組を実施。

- 水素なまず号等による啓発の実施 体験者 50,000 人程度/年

■稲沢市議会議会報告会



挨拶される吉川市議会議員 司会は平床広昭広聴委員長

3 月市議会の報告会が雨天にも拘らず市民の皆さんご来場の中、開催されました。各委員長の分かりやすい議会報告の後には委員会ごとのテーマに分かれて意見交換、総務では特殊詐欺や交通安全など、文教厚生は認知症カフェの補助金の在り方など、経済建設は植木剪定や町内会などについて提案がありました。

STEP21

市子連研修の濱崎氏語録から「子どもと現実のギャップ」「許せない VS まあいいか & 許せる境界」「理性が働く 6 秒…落ち着く言葉・深呼吸・数字のカウント」等…怒る前に一呼吸、変えられなければ別の方向へ **未来へつづくまちづくりへ一生懸命動きます。** 愛知県議会議員 **鈴木じゅん**

●尾張大國霊神社例祭

尾張大國霊神社 国府宮様の例祭が関係の皆様多数お集まりのなか斎行され鈴木も玉串を奉奠して本年の地域の安寧と五穀豊穡を願いました。午後には梅酒盛神事(馬まつり)も斎行されました。



●第 51 回稲沢市老人クラブ連合会総会

市老連の総会が開催され家田尚彦会長から吉川永浩新会長にパトンタッチされました。鈴木からは地元県議を代表して、会員相互の交流や健康づくり活動、地域社会の守り手としてまた地域活性化の推進役としての取組などに感謝して祝辞を述べました。



●市子連「アンガーマネジメント」セミナー

稲沢市子ども会連絡協議会の総会が行われ校区長や理事の廃止など育成者の負担を少なくし実施事業参加への補助金など新しい規約が報告され、濱崎明子氏によるなるほど感のある「アンガーマネジメント」…イライラの解消…の研修が楽しく実施されました。



●一宮地域土地改良推進懇話会

愛知県土地改良事業団体連合会一宮支会による一宮地域土地改良推進懇話会が開催され講師の宮崎まさお参議院議員から四半世紀ぶりに改正された食料農業農村基本法並びに閣議決定された同基本計画や成立した土地改良法などご教授頂きました。

